

新潟県立中央病院 倫理委員会オプトアウト書式

①研究課題名	切除可能膵癌における腹腔洗浄細胞診評価の臨床的意義に関する後ろ向き臨床観察研究
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	対象者及び対象期間；2013年8月～2022年6月に新潟県立中央病院外科で切除が予定された切除可能膵癌患者様 研究責任者；新潟県立中央病院 外科部長 青野 高志
③概要	2022年診療ガイドラインが改訂され、腹腔洗浄細胞診陽性膵癌に対しては手術治療を行わないことが推奨されるようになった為、過去の膵癌切除例における洗浄細胞診の意義を検討する。
④申請番号	第2221号
⑤研究の目的・意義	切除が予定された切除可能膵癌における腹腔洗浄細胞診評価の臨床的意義を明らかにする
⑥研究期間	2013年8月～2022年6月の対象例を2022年8月より1年間検討予定
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む）	腹腔洗浄細胞診の意義を検討するために必要と判断された臨床所見、病理組織学的所見、治療後の経過を後方視的にカルテより抽出
⑧利用または提供する情報の項目	電子カルテより抽出される臨床所見、病理組織学的所見、治療後の経過
⑨利用の範囲	過去において診療が行われた内容に限る
⑩資料・情報の管理について責任を有する者	新潟県立中央病院 外科部長 青野 高志
⑪お問い合わせ先	新潟県立中央病院 外科部長 青野 高志